

レバレッジ型・インバース型 ETF 等の投資リスクについて

香川証券株式会社

上場有価証券等のうちレバレッジ型、インバース型の ETF 及び ETN のお取引にあたっては、以下の点にご留意ください。

レバレッジ型、インバース型の ETF 及び ETN の価額の上昇率・下落率は、2 営業日以上の間の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。

上記の理由から、レバレッジ型、インバース型の ETF 及び ETN は、中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります。

レバレッジ型、インバース型の ETF 及び ETN は、投資対象物や投資手法により、銘柄固有のリスクが存在する場合があります。(例えば、レバ ETF 等は、参照する指数・指標に連動させるため、基本的に先物取引を用いた運用を行っており、先物取引コストを負担しているほか、先物取引の期限(限月)を乗り換える際に、リスクが生じます。)詳しくは窓口にてお尋ねください。

ETF・ETN の売買が行われるに際しては、契約締結前交付書面等の書面の内容をあらかじめ十分にお読みいただき、商品の性質、取引の仕組み、リスクの存在、売買手数料、信託報酬などの手数料等を十分に御理解いただいたうえで、御自身の財産、取引経験及び取引の目的等に照らして適切である場合のみ、御自身の責任において取引を行っていただきますよう、お願い申し上げます。

ETF・ETN とは

ETF (Exchange Traded Fund、上場投資信託)・ETN (Exchange Traded Note、指標連動証券) (以下、ETF 等といいます) は、上場有価証券等の一種で、1 日に一度算出される基準価額等が、特定の指数 (以下、「対象指数」といいます) に連動することを目指した金融商品です。対象指数には、株価指数、債券指数、REIT 指数等があります。

レバレッジ型、インバース型 ETF 等とは

レバレッジ型・インバース型 ETF 等は、株価指数、債券指数、REIT 指数などの計算の基となる指数 (以下、「原指数」といいます) の日々の上昇率・下落率に一定の倍率 (倍数が+ (プラス) 1 を超えるものを「レバレッジ型」といい、- (マイナス) のもの (マイナス 1 倍以内のものを含みます) を「インバース型」といいます) を乗じた数値を対象指数とするものです。例えば、日経平均株価の日々の値動きの 2 倍の値動きを目指すレバレッジ ETF は、日経平均が 1% 上昇した日には、2% の上昇になることを目指して運用されます。

主な投資リスク

(1) 対象指数の変動により基準価額等が下落し、投資元本に損失が生じるおそれがあります。また、対象指数の大幅な変動によって、投資元本が大幅に毀損するおそれがあります

原指数が一日で大幅に変動した場合、倍数 (+2 倍 / -1 倍 / -2 倍) に応じて ETF・ETN の対象指数も大きく変動し、ひいては基準価額等も大きく変動します。

次のケースでは、対象指数の値がゼロ以下になり、理論上では ETF・ETN の基準価額等はゼロとなりますので、投資金額の全額を失う可能性があります。

・レバレッジ型 (+2 倍) / インバース型 (-2 倍)

原指数が前日から 50% 以上下落 / 上昇した場合 (前日比 半分以下 / 1.5 倍以上となった場合)

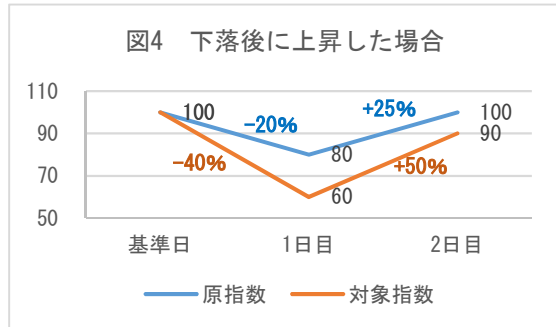
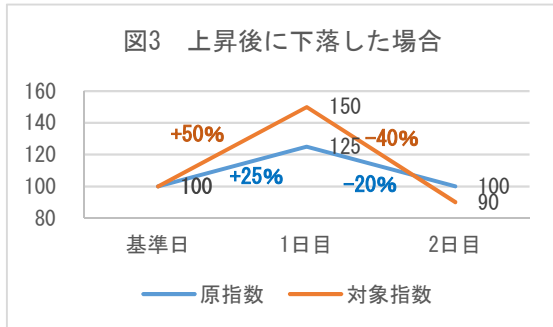
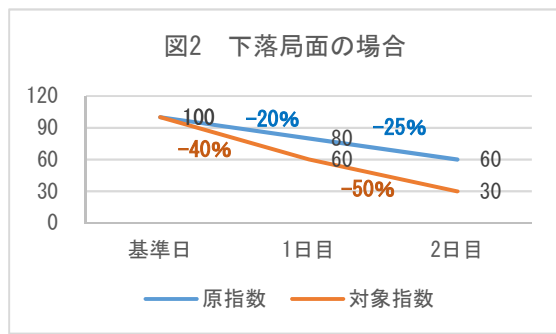
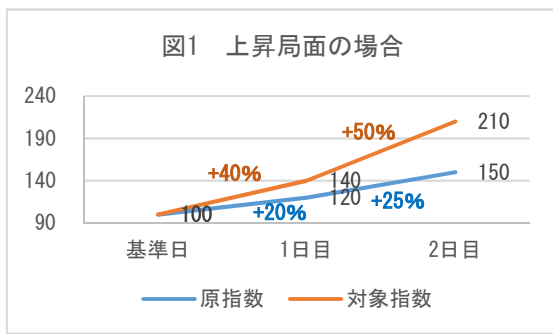
・インバース型 (-1 倍)

原指数が前日から 100% 以上上昇した場合 (前日比 2 倍以上となった場合)

(2) 対象指数の 2 営業日以上の間の上昇率・下落率は、同一期間の原指数の上昇率・下落率に倍数を乗じた値とは、通常は一致しません。原指数の動きによっては、その差が拡大する場合があります

対象指数の 2 営業日以上の間の上昇率・下落率は、同一期間の原指数の上昇率・下落率に倍数 (+2 倍 / -1 倍 / -2 倍) を乗じた値とは、通常は一致しません。

原指数の価格変動性 (ボラティリティ) が大きくなればなるほど、また、投資期間が長くなればなるほど、その差は大きくなる傾向があります。



(※1) 中長期の期間をとった場合、一般的に株価は図3や図4のように上下動を繰り返すことが多く、図1や図2のように一方に上昇又は下落が続くケースは少ないと考えられます。

(※2) 表は例示であり、特定の原指数・対象指数の動きを示すものではありません。実際のETF等の価格は、信託報酬等のコスト負担や先物市場の値動きにより、1日であったとしても「原指数の2倍」といった運用目標を達成できるとは限りません。

(3) 中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります

上記(2)の理由から、レバレッジ型・インバース型ETF等は、中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります。

(4) 基準価額等と取引所の市場価格が一致せず、またそれが長期にわたって継続することにより、期待した投資成果が得られない可能性があります

取引所のETF・ETNの市場価格は、原指数の上昇・下落のほか、市場の需給関係によっても変動します。したがって市場価格は、基準価額やETF等保有資産の純資産価値（インディカティブNAV）と一致しない場合があります。市場価格が対象指数と連動せず、基準価額等との差が拡大し、それが長期にわたって継続した場合には、期待した投資成果が得られない可能性があります。

その他リスク

<信用リスク>

国内上場ETNは、特定の発行者が発行した債券を信託財産とする信託受益証券であり、その「一証券あたりの償還価額」又は「取引所における市場価格」が、発行者の倒産や財務状況の悪化等により下落し、損失が生じるおそれがあります。

<上場廃止/早期償還等のリスク>

市場動向の急変時や資産総額が小さくなった場合など、管理会社、信託受託者等が運用の継続が困難であると判断した場合は、繰り上げ償還をする可能性があります。取引所が定める上場廃止基準に該当した場合などは、上場廃止となる可能性があります。

<ロールオーバー（乗換）のリスク>

レバレッジ型・インバース型ETF等は、参照する指数・指標に連動させるため、先物取引を用いた運用を行っています。このため、一般的にレバレッジ型・インバース型ETF等は先物取引に係るコストを負担しているほか、先物取引の期限（限月）を乗り換える際に、リスクが生じるおそれがあります。

開示情報について

個別商品の概要や投資リスクは、日本取引所グループのホームページからご確認いただけます。

日本取引所グループ <https://www.jpx.co.jp/equities/products/etfs/index.html>

香川証券株式会社

金融商品取引業者 四国財務局長（金商）第3号

加入協会：日本証券業協会